

# 消防団員確保緊急推進本部の

## 設置について

東京都内の各消防団では消防団員の定員充足に向けて、確保に努めているところであり、我が、江戸川消防団においては平成19年11月11日現在の団員数は定員350名に対して326名に留まっている現状です。近年東京において首都直下型地震の切迫性が高まっており、震災時等において多面的な活動が期待されている消防団の活動体制の充実強化、特に消防団員の確保は緊急の課題です。

このことから、江戸川消防団に大場副団長を本部長とする「消防団員確保緊急推進本部」を設置し、総力を挙げて消防団員の入団促進を図り、定数人員を早期に確保するように活動してまいります。



# 江戸川消防団特殊技能班出動！

## 東京消防庁出初式

平成20年1月6日東京ビッグサイトにて東京消防庁出初式が行われ、我が江戸川消防団から特殊技能班6名が参加しました。訓練設定は大地震により、電柱の倒壊で下敷きになった乗用車の中から要救助者2名を救出救助する訓練で、電柱の撤去が使用される撤去後は周囲の安全確認をして他の5人が消防署から支給されたストライカーなど救助器具を使い、車のドアを開け救出し救助所へ搬送しました。分団長の指揮の下、各団員は完璧に訓練成果を発揮しました。



# 合同点検

平成19年度江戸川区内消防団（江戸川消防団、葛西消防団、小岩消防団）合同点検が、荒川河川敷右岸で10月21日（日）秋晴のもと総勢700人の団員が参加して行われました。江戸川区長をはじめ、多数のご来賓の皆様の前で、日頃の訓練の成果を発表しました。当日の内容は、団検閲、そして大地震を想定した特殊技能団員による重機を用いた救出訓練や、AEDを活用した救護訓練、建物火災を想定した消火訓練を披露しました。又、新しい活動用作業服の説明等もありました。



# 年末 消防特別警戒

江戸川消防団では、例年通り12月20日より31日まで年末消防特別警戒を実施し各部それぞれに、ゆく年の安全と無事を願う、町会内を巡回し可燃物放置などの確認、火災等の警戒にあたりました。30日には田名部江戸川消防署長、武松団長の巡視と力強い激励を受け、消防団活動の糧となることと思われました。又、31日大晦日には除夜の鐘と共に

各地元神社に於いて、くる年の無災害を祈って団員一同安全祈願を受け、何事もなく無事に年末消防特別警戒を終わりました。

# 住宅用火災警報器 設置の推進

江戸川消防団では、消防署と協力して、住宅用火災警報器設置の推進を呼びかけております。住宅火災の焼死者の発生経過の分析を見てみますと、約4割が「発見の遅れ」によるもので、火災から命を守るためには火災を早期に知らせる住宅用火災警報器の設置が極めて有効であることがわかりました。また、火災予防条例により、東京消防庁管内では平成22年4月1日から住宅用火災警報器の設置がすべての住宅に義務付けられることとなりました。火災から尊い命を守るために、早めに住宅用火災警報器を設置しましょう。



# 活動だより

防火防災フェスティバル  
平成19年11月9日（金）秋の火災予防運動初日に東部フレンドホールにおいて「防火防災フェスティバル」が行われ団長をはじめ各分団より多くの団員が参加しました。

東部地域祭  
平成19年11月11日（日）東部区民館を中心とした地域で東部地域祭が行われ第6分団、第7分団の団員15名が防災コーナーにおいて初期消火訓練、応急救護訓練などの住民指導を行いました。



応急手当指導員講習  
江戸川消防団では、東京救急協会の協力のもと平成19年11月23・24日の2日間、応急手当指導員講習を実施し、6名の指導員が誕生しました。これにより上級救命講習の指導も行うことができるようになりました。

平井駅前キャンペーン  
平成19年11月12日（月）に平井駅北口広場において、第2分団による住宅用火災警報器の設置促進キャンペーンと団員募集活動を行いました。

# 分団紹介 第一分団



我々第一分団は伊藤徳蔵分団長以下12名（女性団員6名）で構成され、荒川と旧中川に挟まれたJR総武線平井駅以南から都営地下鉄新宿線東大島駅までの広範囲を受け持ち、活動しております。小松川4丁目と平井1丁目から4丁目にかけては、平井駅から京葉道路までの商店街と住宅街が中心で小松川1丁目から3丁目までは都立大島小松川公園を中心とした災害に強い街創りとして、マンションなど高層住宅になっております。受け持ち担当面積は三四一、九mで人口三四、五五一人の安全を守っております。

# 編集後記

広報紙を発行するにあたり、江戸川消防署のご協力を頂き大変感謝しております。広報委員会は、大場副団長を委員長に団本部、各分団から集まった12名で発足し、写真班とパソコン班でホームページ中心の活動をして参りました。昨年秋季より広報紙を発行しようという声が上がりましたが、広報紙を立ち上げましたが、カメラやパソコンを趣味としている団員はいましたが広報紙担当はなかなか居ないのが現状で、苦慮したのも事実でした。今回皆さんのご協力をいただき発行できまます事を広報委員会一同御礼申し上げます。今後、年2回の発行を目標に進めてまいります。

表面にホームページアドレスを表示してありますので是非ホームページもご覧下さい。